

10/17(日)動物慰霊祭を執りおこないます



JAPAN MONKEY CENTRE

例年、創立記念日には、今まで日本モンキーセンターで亡くなった動物たちに感謝の意を表し、動物慰霊祭を執りおこなっております。今年は、16種26頭の霊長類が亡くなり、計6,741頭を供養します（2021年10月10日現在）。霊長類以外の亡くなった飼育動物たちも併せて供養いたします。

今年、日本モンキーセンターは65回目の創立記念日を迎えます。この慰霊祭では、飼育担当者はもちろん、学部や事務部のスタッフも全員が順次参列し、手づくりで心のこもった進行を計画しています。一般のみなさまも果物（バナナを除く）や野菜、クリやドングリ、樹木の苗木などの「お供えもの」を持ってご参列いただけます。お供えものは後日、飼育している動物たちのために役立てます。お供えもの（リンゴ、ミカン、マンゴー、メロン、パイナップルなど果物類、サツマイモ、葉物、根菜類、クリやドングリなどの堅果、動物用の遊具や採食装置※市販の新品のみ、樹木の苗木、など）の受け付けは、10月13日（水）から開始し、慰霊祭の当日の10月17日（日）13時までおこなっております。※宅配でも受け付けます。

動物慰霊祭には、親善大使の竹下景子様も来園予定です。貴メディアにてご紹介いただければ幸いです。

創立 65 周年・動物慰霊祭 概要

日時：2021年10月17日（日）13時30分～（雨天決行）

場所：ビジターセンター左手奥 動物慰霊碑（猿塚）前

進行：事務局長 林 美里

プログラム

開祭挨拶 竹下 景子（日本モンキーセンター親善大使）

動物たちへ感謝のことば 市原 涼輔（飼育員）

13時45分～ 献花、献果

14時頃 終了

資料：この1年で亡くなった霊長類（一部）

写真：マダガスカル館 ワオキツネザル レンネット（♂） 永眠 2021年8月26日



2014年3月23日に生まれたレンネット。幼い時に目の角膜に異常が見つかり、点がん治療をおこないました。一度は通常の角膜に戻ったように見えたが、右目に悪性の腫瘍があることが判明し摘出手術をおこないました。左目にも同じ症状が現れ2020年12月に左目も摘出しました。目の異常が分かってから、抗ガン治療をおこなっていました。レンネットの闘病する姿に、皆様から多くの励ましの言葉とお手紙や贈り物を頂きました。とても頑張り屋のワオキツネザルだったと思います。（写真左側）

◆感謝の言葉読み手：市原涼輔（いちはら りょうすけ）

Wao ランド、Wao ランド mini、マダガスカル館、アジア館を担当。入社4年。キツネザル担当し2年。2021年8月26日マダガスカル館でレンネットの最期を看取った。

※今年も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、皆様にマスクの着用、手のアルコール消毒をお願い致します。参列の際は、ソーシャルディスタンスに注意し、密にならないように慰霊祭を執りおこないます。ご理解とご協力を宜しくお願い致します。

お問い合わせ先

公益財団法人日本モンキーセンター 〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26

TEL：0568-61-2327 FAX：0568-62-6823 メール：info@j-monkey.jp

担当：坂口、赤見、江藤、荒木、辻内、安倍

※その他の イベント情報などは、過去のプレスリリース原稿、

または Web サイトにてご確認ください。 <https://www.j-monkey.jp/event/>